

2022年8月12日から2023年9月15日までの400日間、岸田総理から辞令交付を受けました。文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を無事に任期全う致しました。衆議院議員初当選後、1年にも満たない中でこのような重職を拝命するとは、想像もしておらず、まさに青天の霹靂でした。しかし任命いただいた以上は、岸田内閣の一員として、責任感と緊張感を持って政策実現のため職務に全力で取り組んで参りました。

文部科学大臣政務官としては、主に、科学技術・学術と文化を担務と任命されました。科学技術・学術は国力の源泉です。私はF1レーサー時代、世界を転戦するなかで、「技術力が国力を決定する」という事実をまざまざと目撃して参りました。この経験を踏まえ、日本が世界をリードする科学技術立国として、日本の科学技術力や研究力を高めていくことを目指しました。その一環として、



## 大臣政務官在任 400日間の足跡

Spring-8の高度化TF(タスクフォース)の座長を務め、取りまとめさせて頂きました。

また文化においては、「文化がなければ我々はただサバイブするだけだ」という言葉からも分かる通り、文化は人々の豊かさや幸せに結びつくものです。私は日本が世界に誇るアニメに関してTFを組み、「アニメーション文化の継承」「時代を担うアニメーター等人材の育成」「アニメーション産業の持続的発展」を今後の方向性として定め、具体的な施策を整理いたしました。

復興大臣政務官としては任命翌月、東日本大震災の被災地を訪れました。「創造的復興の中核拠点として、浪江町に福島国際研究教育機構が設立されるにあたり、準備状況を視察したほか、大熊町や双葉町、福島第一原発などを足で歩いて地元の方たちと語り合い、「東北の復興なくして日本の再生なし」という思いをますます強くし、風評と風化という2つの壁を乗り越えるべく尽力いたしました。官僚としての経験もなく、文字通りゼロからのスタートではありましたが、徹底した現場主義を貫いた400日でした。

大臣政務官として職務に専念することができ

## 2022 ↓ 2023

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



《やまもと・さじん》  
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。41歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。以来、厚生労働委員会・経済産業委員会に所属。現在、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟事務局長、カーボンニュートラルのための国産バイオ燃料・合成燃料を推進する議員連盟事務局次長などを務める。日本語、英語、スペインを話すマルチリンガル。



不屈の  
三河武士

## 文科大臣政務官として座長を務めた 3つのタスクフォース

### 大型放射光施設「SPring-8」の高度化のためのタスクフォース

#### SPring-8の高度化に関するTF

- 放射光施設は、加速器で生み出される光で物質を照らし、未知の現象を明らかにする(=わからないことが分かる)大型計測ツール
- 1990年代から約30年間、世界の放射光科学を牽引してきた放射光施設SPring-8は、自動車、蓄電池などのハイテク分野から、食品、化粧品などの身近な分野における画期的な製品開発への貢献や、科学捜査などの公共分野に至るまで、私たちの豊かで安全安心な暮らしの実現に大きな役割を果たしてきた
- 一方で、老朽化や輝度の低さなど現状では遅れをとっている。次世代半導体やGX社会の実現など産業・社会の大きな転機を見据え、2030年に向けて世界最高峰の輝度をもつ施設を目指し、経済安全保障の最重要基盤施設の一つとしてのアップグレードが必須である
- 欧州やアメリカでは同様の放射光施設のアップデートや、中国では新規建設が進んでいる
- 2030年頃は次世代半導体の量産やGX社会の実現など大きな契機となる時期に向けて、SPring-8の高度化(アップデート)をタスクフォースを立ち上げ、高度化により目指す能力は現在の最高輝度の約100倍以上。世界2位に2倍以上の差をつける圧倒的な世界一を目指す

## SPring-8



出典:第1回SPring-8の高度化に関するタスクフォース(令和5年6月7日)理化学研究所石川センター長 ご講演資料より

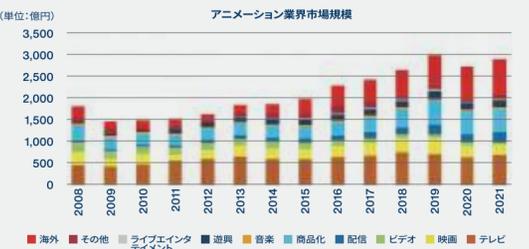


出典:第4回SPring-8の高度化に関するタスクフォース(令和5年7月4日)理化学研究所五神理事長 ご講演資料より

### 我が国のアニメーション業界における創作基盤の強化のためのタスクフォース

#### アニメーションをはじめとする魅力的なコンテンツの世界的発信と価値の向上

- 日本のメディア芸術は広く国民に親しまれ、新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促している
- マンガやアニメは人種や習慣、宗教等の違いを乗り越え、海外からも浮世絵と並ぶほど高い評価を受けている
- この10年間でアニメの市場規模は2倍に拡大しており、日本の成長産業の一つである
- 一方で、それらの創出を担う制作現場ではデジタル制作への移行、制作方法の多様化に伴う世代交代、人材不足、労働環境等の課題も指摘され、アニメーション制作をとりまく環境整備はいまだ多くの問題が残されている
- アニメーションに関係する業界、学校など現場の皆さんからヒアリングし「アニメーション文化の継承」「時代を担うアニメーター等人材の育成」「アニメーション産業の持続的発展」の3つを課題とし、検討すべき具体的な施策について整理し取りまとめる



### 「サイエンス×アートによるイノベーションの推進」勉強会

#### 「STEAM教育」の重要性を耳にする機会の増加

- STEAM教育とは現在、アメリカが国家戦略として取り入れている教育モデル
- 科学(サイエンス)・技術(テクノロジー)・工学(エンジニアリング)・芸術(アート)・数学(マスマティクス)の5つの英単語の頭文字を組み合わせで作られた造語
- サイエンスやテクノロジーなど理数系の教育に、創造性教育であるアートを加えたこの5分野を横断的に学ぶことで、課題をみずから見つけたり、物事をさまざまな面から捉えて解決したり、新しい価値を創造したりする力が身に付くという考え方
- 「知る」と「創る」のサイクルを生み出すことを目的としたこのSTEAM教育は、技術革新が加速度的に進み、人工知能の影響で大きく価値観が様変わりしていくこの世の中において、デジタル社会に順応した競争力のある人材を養うという点で大きな期待を集めている
- 日本においてSTEAM教育を普及させることは喫緊の課題であると考え、「サイエンス×アートによるイノベーションの推進」をテーマに文科省若手職員を中心に勉強会を立ち上げる
- それぞれの部署にこのテーマを持ち帰り、この勉強会での経験と成果をどのような政策に落とし込むのか期待し、私自身、今後もサイエンスとアートという2つの要素の融合を、自分のテーマとして継続する

衆議院議員 山本左近事務所

豊橋事務所

〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1  
TEL. 0532-21-7008 FAX. 0532-21-7003

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 304号室  
TEL. 03-3508-7302 FAX. 03-3508-3302

お名前、ご住所等のご確認のお願い

お名前やご住所に変更がありましたら、国会事務所までご一報ください。山本左近を応援して下さる皆さまに今後も情報をお届けできるよう努めて参りますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

討議資料

2023

2022

政務官としての足跡

日々の国会や省庁以外でも、様々な場所で、多くの皆さんの声を聞かせていただきました。

8 12 18時10分 岸田総理より辞令交付文科大臣政務官 復興大臣政務官 就任

・辞令交付後、公邸にて記念撮影と政務官会合

・文部科学省へ初登庁と幹部職員へ挨拶

・新設政務官事務引き継ぎ、省内職員挨拶

・国立極地研究所視察



岸田総理より辞令交付、総理公邸にて記念撮影(最上段左から二番目)

9 6 学制150周年 記念式典 出席 天皇后両陛下へ臨席

・復興推進会議

・カプリ数物連携宇宙研究機構 視察

・海洋研究開発機構(JAMSTEC) 視察

・福島県 大熊分析・研究センター 第1棟完成式典に出席・挨拶

・故安倍晋三国葬儀



福島県大熊分析・研究センター第1棟完成式典に出席

10 1 第77回文化庁芸術祭オープニング公演 出席

・秋篠宮皇嗣妃殿下へ臨席

・第210回臨時国会 開会

・F1日本グランプリ岸田総理が出席されたオープニングセレモニーに同行

・\*総理大臣の初めてのF1日本グランプリ訪問

・JAEA 大洗研究所・原子力科学研究所 視察

・衆議院 文部科学委員会 挨拶

・ノベル・プライズ・ダイアログ東京2022レセプション出席



第77回文化芸術祭オープニング公演に出席。各国大使とも歓談

11 2 衆議院 経済産業委員会 答弁

・文化功労者顕彰式

・サイエンスアゴラ2022 出席・挨拶

・衆議院 国土交通委員会 答弁

・参議院 東日本大震災復興特別委員会 挨拶

・フォーラムエイト・ラリージャパン2022

・セレモニアルスタート及び記念パーティー出席

・衆議院 東日本大震災復興特別委員会 答弁

・参議院 文部科学委員会 答弁

・東京国立博物館 視察

・半導体テクノロジーシンポジウム 出席・挨拶



FIA世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン2022開催記念レセプションにて乾杯挨拶

12 10 第210回臨時国会(69日) 閉会

・インターカルト日本語学校 視察

・アニメーション制作会社キネマトラス 視察

・復興推進会議及び復興大臣幹部会議 復興庁にて

1 6 新年年頭挨拶

・JAXA 筑波大学・NED-NIMS 視察

・NanoTerasu 及び東北大学 半導体研究センターを視察

・全国いじめ問題「こもサミット」出席 挨拶

・第211回通常国会 開会

・起業家教育推進大使 任命式 出席・挨拶



文部科学省で進めている起業家教育推進にご協力をいただいている(株)ディー・エヌ・エー 南場智子会長はじめ関係の皆様を大使に任命

2 3 第36回 理研と未来を創る会 情報交換会 出席 挨拶

・文化庁京都庁舎等 視察

・京都マラソン 参加・完走

・核融合実験炉ITERトロイダル磁場コイル最終号機完成式典 出席・挨拶

・復興推進委員会 出席

・プロスポーツ大賞・スポーツ功労者顕彰式 出席

・文科省情報ひろば 視察

・文化庁京都移転に係る訓示 岸田総理 出席



京都移転の文化庁のPRもしながら、京都マラソンに参加・完走

3 27 17 文化庁京都移転に係る訓示 岸田総理 出席

・第31回地球環境大賞授賞式 出席・授与

・東京藝術大学 視察

・第63次・第64次南極地域観測隊の大臣表敬 出席

・株式会社日本レースプロモーション 文科大臣表敬訪問

・同スポーツ庁長官表敬訪問



文化庁が京都で業務開始するにあたり、岸田総理から訓示 出席

5 2 大型放射光施設 Spring-8 及び SACLAR 視察

・令和5年春の叙勲勲章伝達式 出席

・令和5年春の褒賞伝達式 出席

・若田宇宙飛行士・古川宇宙飛行士の大臣表敬 出席

・第15回日米科学技術協力合同高級委員会 出席

・参議院 内閣委員会 答弁

・若田宇宙飛行士のミッション報告会 出席・挨拶

・全国原子力発電所所在地市町村協議会総会 出席・挨拶

6 3 EDGE-PRIME Initiative キックオフイベント 出席・挨拶

・I-HIエアロスペース富岡事業所 視察

・ナショナル・トレーニングセンターイースト及び国立スポーツ科学センター 視察

・トビタテ!留学JAPAN派遣留学生壮行会 出席・挨拶

・第42回 復興推進委員会 出席

・第211回 通常国会(150日) 閉会



若田宇宙飛行士のミッション報告会にて挨拶

7 4 諏訪・米田宇宙飛行士候補生の大臣表敬 出席

・高速増殖原型炉「もんじゅ」及び美浜町エネルギー教育関連施設 視察

・車いすハンドボールKnockusc主催 体験会 視察・参加

・第74回 毎日書道展表彰式 出席・挨拶



「トビタテ!留学JAPAN」の皆さんにお越し頂き、意見交換

8 2 こども読書発見ツアー 視察

・ウガンダ(アフリカ)の難民居住区における教育支援と食糧支援の現場 視察

・M I C U S R A T Loves music and art @サマソンニク2023 視察

・スーパーコンピューター富岳等 視察

・G20文化大臣会合@インド・バラナシ 出席

・復興大臣幹部会議 出席



ウガンダ(アフリカ)の難民居住区における教育支援と食糧支援の現場 視察

9 8 文化庁京都移転記念事業オープニングセレモニー

「ぎょうハレの日」記念式典 出席・挨拶

・文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官 退任



8月25~27日にインドで開催されたG20文化大臣会合に出席。文部科学大臣政務官として日本を代表し発言

